

リニューアル後初のアドバンスクラスだった。大きな変更点としては、今まで挙手制だったがコーチ役が、指名制もしくは承認制へと変わることだ。手を挙げれば誰でもできるのではなく、クライアントからの信頼がないと、コーチ役をやることができない。そして、クライアント役は2回目のセッションを自ら希望することができるという点だ。

10年プロジェクトの理念でもある“やりたいことをやる”により特化した、成長したい人がより成長できる、サバイバル感のある施策になったと感じた。

ただ、残念ながら、今回その機会を活かすことができなかった。今回参加者は3名で、3人が順当にコーチ役の使命を受け、誰1人セッションのおかわりをする事なく、つつがなく終えてしまった。空気を読んだつもりはなかったけど、本当にクライアント役として解決を望んでいたら、陽子さんをコーチ役として指名していたはずで、そういう意味での遠慮はたしかにあったと思う。それが、陽子さんに「様子見」と言わせてしまった所以だろう。「ルールが変わっても、取り組み方を変えなければ、何も変わらない」というのはまさにその通りで、こういう時に実力が問われるのだと痛感した。月に1回、年に12回しか機会がないと思ったら、様子見なんてしてる余裕はないはずなのに……。もっと自分の“やりたい”、“成長したい”に、貪欲になっていい、それを出す場なのだと再認識した。

残りの時間でメンバーAさんが話題に出してくれたことで、「空気を読むのはなしでいこう」と共通認識を持てて良かった。次回以降は、今回の反省を活かして臨みたい。

今回は冒頭に陽子さんから「コーチという生き方」という言葉があった。日常生活でコーチングが機能しない時、「相手が求めているから」と見切りを付けるのは簡単だけど、それは日頃関係が築けていないからでもある。コーチ役の指名を受けられるだけの信頼を得られるような日々の過ごし方をしてほしいと。実力の話もそうだけど、全て見られているし、繋がっているんだなあと思った。

今回セッションは3本行われた。1本目は、コーチ役の指名をあずかり、自分が主催した勉強会を欠席した他の課の課長との関係について、クライアントから相談があった。事前にクラスAの課題で共有されていた内容だったのだが、その時から「忘れていた」という課長の言葉を、私は言い訳のように感じていた。その仮説が合っているという確信があった訳じゃないけれど、「忘れられた」=「軽んじられている」というクライアントの不満を一旦そこで解消した上で、今後どうしたいのか、クライアントの意向を聞くことをゴールにしようと思った。感想戦では、それ以外に相手(課長)にフォーカスしたセッションも、今回のクライアントには有効だとアドバイスをもらった。クライアントにフォーカスするか、相手にフォーカスするか、これだけでも選択肢が最低2つはできる。コーチの視野の広さというのは、間違いなくクライアントの満足感に直結する。カードの持ち札を増やすことも意識してやっていきたいと思った。

2本目のセッションは、自分の出身校について、自分が在学していた当時よりも、留学などの制度が整っていることに対して、良いことであるはずなのに、心がざわつくという相談内

容だった。「何が1番許せない？」という質問をきっかけに「経済的に」というキーワードがクライアントから引き出され、そこから一気に話が進んだ。私とメンバーAさんは「昔は良かった」という価値観を持っているのに対して、今回のクライアントBさんは「今の方が羨ましい」という価値観を持っていることにも根差していると、感想戦で解説してもらった。

最後のセッションは、クライアント役で「やらなければならないと今まで取り組んで来たことを、実はやりたくなかったと自覚したは良いものの、現状すぐにやらずに済む訳ではないので、前向きに取り組むためにどうすれば良いか」という相談をした。感想戦で陽子さんからやりたくない仕事の内容を具体的に問われて話すと、陽子さんから、「それってやりたくない仕事」とは別の話なんじゃないの？というフィードバックをもらった。そう問われて、誰もやる人がいないからと仕事回って来る理不尽さに腹を立てていたのだと納得できた。コーチ役のBさんを「難しかった」と困らせてしまったが、「会社の人に共有していますか？」という問いかけは、自分1人では解決できない、長期戦のものである程、周囲に理解してくれる人が必要だと思ったし、また、Aさんが、自分だったら感情や思考の整理をゴールにしたと感想戦で話してくれたのを聞いて、たしかに私は整理してもらおうことで、落ち着くことが多いなと思った。

今回リニューアルしたことで、単純にスキルだけじゃなく、もっとコーチの個性や特色を出していければ、コーチの指名制が生きて来ると感じた。私の場合は、Bさんがしてくれた「感情を軸に考える」という言葉をヒントに、個性として活かしていきたいと思った。そして、感想戦では、陽子さんから、よ

り個人の特性にフォーカスした細かな説明が増えたと思った。これは、アドバンスクラスのセッションに限らず、合宿やmtgでも活かせると思うので、そういう部分もしっかり拾っていきたいと思った。

今回もありがとうございました！

(E.M 40代女性 埼玉県)